

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	訪問入浴サービス事業				事業番号	011-159	
担当部署名	健康福祉局	局	障害福祉部	部	障害福祉サービス課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
	無		現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	第5次堺市障害者計画、第7期堺市障害福祉計画、堺市第3期障害児福祉計画		
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 8 年度
4	実施根拠	障害者総合支援法第77条、堺市訪問入浴サービス事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	訪問入浴サービスによらなければ入浴することができない身体障害者および身体障害児	対象数	単位
			—	人
7	事業の目的	身体障害者及び身体障害児の身体の清潔の保持、心身機能の維持を図り、身体障害者及び身体障害児の在宅生活を支援する。		
8	事業内容	訪問入浴登録事業者が浴槽を利用者宅へ運び入浴サービスを行う。利用料は原則1割負担。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	—		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
	年間利用者延人数	人	目標値	—	—	—	—
			実績値	529	506		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	利用回数	回	目標値	—	—	—	
			実績値	3,517	3,399		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		訪問入浴サービス事業				事業番号		011-159	
-------	--	------------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算		決算		当初予算		当初予算	
		事業費 (a)	54,667		48,626		53,048		46,179	52,965
		国支出金	0		0		0		0	0
		府支出金	0		0		0		0	0
		市債	0		0		0		0	0
		その他 ()	0		0		0		0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	164		164		0		0	0
		一般財源	54,503		48,462		53,048		46,179	52,965
		14	人件費 (b)	2,430		2,430		2,520		2,520
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	57,097		51,056		55,568		48,699	55,575	

事業費の内訳

(単位：千円)

16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		訪問入浴サービス事業	R7	決算	46,179	46,179		R7	決算		
			R8	予算	52,965	52,965		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
R8	予算				R8	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	①	利用回数	回	3,517	3,399
	②	上記①にかかる年間経費	千円	51,056	48,699
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	14,517	14,327
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	本事業は、このサービスによらなければ入浴することができない身体障害者に対して入浴サービスを提供するものであり、身体障害者の身体の清潔の保持等のため必要不可欠なものである。費用については、介護保険法の訪問入浴に関する報酬単価と同水準であり、妥当なものであると考える。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、このサービスによらなければ入浴することができない身体障害者に対して、身体の清潔の保持等を図るため入浴サービスを提供するものであり、障害者の暮らしの場の確保、障害者及びその家族に対する支援の推進に寄与している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	当事業は障害のある方が他のサービスでは入浴が困難な場合に、当該サービスを提供し、入浴の機会を確保することに寄与しているものと考えられる。 今後は身体障害者に加え、身体障害児の身体の清潔の保持、心身機能の維持を図るという観点から、本事業は必要性・有効性ともに有するものと認められる。
	有効性	■ 高い □ 低い	